



夏休み

自然にふれて 家族対話のとき

(木戸公園で)

夏―暑い毎日ですが、ぼくたちは、夏休みです。戸外には、植物や虫などの小さな営みが続いています。植物や動物の生態を観察する絶好のチャンスです。

日ごろ、なかなか両親や家族とお話をする機会がありません。思っていることを卒直に話してみましよう。そして、お年寄りから昔の生活のようすなどをきくのも夏休みが一番よい機会ですよ。

お盆休み

燃えるごみの収集

八月十五、十六日は休み、週一回収集地区は、八月十七日・十八日に集めます。

また、週二回収集地区は、次回の収集日に収集します。

し尿のくみとり

八月十五・十六日は、くみとり業務はお休みです。

健康相談

八月十五日の市役所内と八月十六日の秋穂二島公民館での健康相談は、中止します。

また、八月十八日大歳公民館での乳児相談は、八月二十五日に延期します。

山口市

職員採用資格試験(上級)

。受験資格 昭和二十八年四月二日から三十一年四月一日までに生まれた人で、短大を除く大学卒業者および来年三月卒業見込みの人

。試験職種 行政事務

。一次試験日・場所 十月二日 白石中学校

。一次試験内容 教養、専門、適正検査

。採用予定人員 若干名

。申し込み 市役所職員課または各出張所備え付けの用紙に所定の事項を記入し、八月十日から九月二日まで

に市役所職員課へ提出

家庭・社会の連帯で青少年を健やかに 百二十一人指導員委嘱

■社会の環境を浄化する

これは社会の責任

「青少年の健全な育成は、青少年が育つ社会の環境をきれいにすることが最も大切で、これは社会全体の責任です。」青少年指導員研修会で講師の石川稔大蔵小学校長はこう語られました。

■関係機関とのパイプ役

百二十一人の指導員

五十一年四月、それまでの青少年補導センターにかわって、補導ではなく、健全育成を主眼

にした青少年センターが発足しました。

同センターでは、七月六日山口信用金庫で、山口市青少年指導員の委嘱と研修会を開きました。

五十二年から二年間、相談や街頭指導などを通じ関係機関とのパイプ役として活躍する次の指導員百二十一人が委嘱されました。(敬称略)

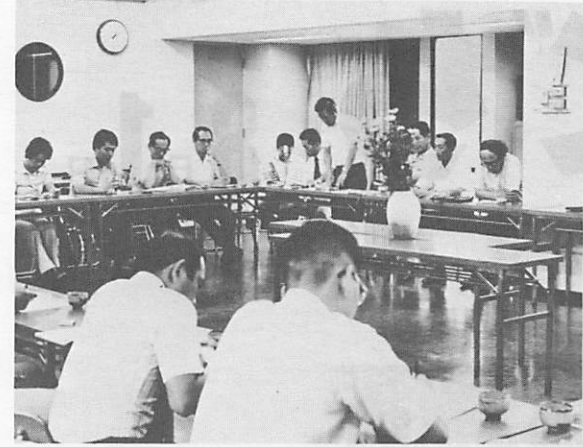
〔大殿地区〕 福永富美子、原田秋夫、高橋外代美、井関登代子、辻田稔次、吉岡幸子、松田花枝、坂辻初枝、藤野真砂雄、末廣光啓

〔白石地区〕 山根富士江、山本貞子、鈴木澄子、天野節子、佐波成真近藤幸江、佐賀ミチ子、山本幹雄、徳田宗敏、和田征文、梅本節治

〔湯田地区〕 中野繁俊、徳田明、松永正己、野福房代、小林正美、津村順作、吉光安治

〔高等学校〕 甲田俊夫、穴戸莞爾、高津暎、石川和朋、高木謙美

〔関係機関・警察署・青少年センター〕二十四人
委嘱状受領のあと、前記石川



夏休み中に子どもが、無事故で、健全に——話し合う指導員たち——中央研修会

稔校長の講演をきき、青少年を健やかに育てるためにお互いに手をたずさえて活動することを申し合わせました。

■ブロックごとの

研修をつむ

次いで、七月十一日からブロックごとの研修に入りました。

夏休み中の事故や逸脱行為の防止を中心に、警察、学校、子ども会などとの情報の交換や行動の計画を話し合い、七月十九日の鴻南地区を最後にブロック研修会をおわりました。

■あとをたたない

非行の「温床」の事例

昨年度、市青少年センターで扱った指導件数は、百八十四件学校をやすむ、喫茶店に出入りする、盛り場をうろつくなどのことが多いですが、刑罰の法令に触れる行為も四十一件指導されています。

これらはまた、非行、犯罪の一步手前の出来事として、安易に見のがしてはならないことでもあります。

■健全育成を

決議——市議会

去る六月三十日、六月定例市議会で、「青少年の非行防止と健全育成に関する決議」が決議されました。

地域環境浄化のため、市民と行政が一体になって、有害図書、追放など強力に進めることを市議会ひいては市民全体の意志として採択されたものです。

■雑誌の自動販売機

七台姿を消す

自動販売機の俗悪雑誌による青少年への影響が心配されていますが、今年二月一日現在、市内に十五か所雑誌の自動販売機がありました。このうち七台は、関係者の根強い運動の結果、姿を消しました。

■家庭の対話

「社会の眼」

青少年指導員は、学校、関係

機関と力をあわせて、地域の青少年にとって有害、危険なものをとりのぞくことや、街頭指導、相談を通じ、青少年が健全に育つよう努めることになりました。

近年、青少年をとりまく環境はよくなつてはいません。子どもと家庭での対話、たまたえよその子であっても、危ないことや非行の温床になる行動をしている青少年をみつけたら声をかけてやる、おとなの暖かい心がいちはん必要です。

■車の通行制限

市道角下市——赤妻線

公共下水道汚水管布設工事のため、市道角下市赤妻線の丸久湯田店前から前田川に至る区間が八月十七日から十一月二十日まで車両通行制限になります。

午前九時から午後四時までは車両通行どめ、この時間以外は一部片側通行どめです。

なお、この期間中市営バス吉敷線(西光寺經由)の一部が、下東經由(西光寺)中尾終点の経路に変更になります。



■花神をしのぶ

石州一泊の旅——市営バス

。月日 九月二十四・二十五日

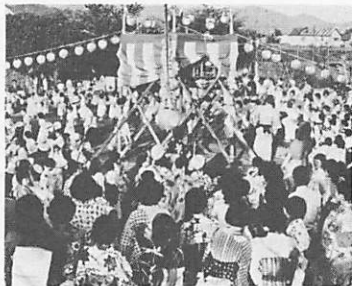
。コース 小郡・山口・益田——浜田——ゆのつ温泉(泊)

。大森銀山——三瓶山——山口・小郡

。費用 大人 一万四千元、小人 一万円

。申し込み 九月十日まで、市交通局へ

(3)



盆 おどり

うとうしいつゆが明けて、酷暑の夏です。この暑さにまけぬ気力、体力をもって充実した生活をしましょう。

— 8月のこよみ —

●お天気 測候所の予報では「太平洋高気圧におおわれて、晴の暑い日が多いですが、一時前線が南下して雷雨が発生するなど、不安定な天気となる日もあります。下旬には大陸からの高気圧の影響で、暑さもしのぎやすい日ありましょう」とのことです。

●子ども 子どもには一番のしい夏休みですが、気のゆるみから事故もある時です。家庭では子どもをのびのびとさせてやる気持と同時に、子どもの行動に気をつけてやりましょう。

●たなばた 7日は山口のちょうちんたなばた。約10万の紅ちようちんが、街の夜空を飾り「火のトンネル」となります。一家そろってちょうちんを見においでませ。

●立秋 8日 暦の上ではこの日から秋に入りますが、暑さはなおつづきます。

●終戦記念日 15日 ひと月おくれのお盆をやる山口では、お盆と重なります。昭和20年のこの日、わが国は、ポツダム宣言を受諾して、米英仏ソの連合軍に無条件降伏した日です。これによって第二次世界大戦は終結し、世界に再び平和がおとずれました。これを記念して国民が、平和を祈願し、戦争を放棄することを誓う日です。

うまい話の持ち込み
●マルチ商法
他人をさそって、販売組織に加入させれば、謝礼がもらえる商品が安くなる、リベートがふえるというマルチ商法にご注意ください。
「良いアルバイトがあります」とか「〇〇さんは月〇万円儲けています」とかいう巧妙な手口で主婦や学生などをさそいます。
しかし、実際には商品が売れず、借りた金が返せずに苦しんで

うまい話にご用心 マルチ商法・ねずみ講



でいる人も全国では多くでいます。
「マルチ商法」は法律で規制されていますが、みなさんも、業者の甘言に惑わされないようご注意ください。また、被害にあったら警察や市役所商工観光課へご相談ください。

すぐ底の割れる

●ねずみ講

全国各地で「ねずみ講」の活動が活発になり、被害が多発しています。
ねずみ講の仕組みは、次のよ

うになっています。
。加入すると一定金額を講の本部や先輩会員に送金するように指示
。加入すれば最低二名の新規会員の勧誘加入の義務づけ
。勧誘加入させた自分の子会員がさらに孫会員を勧誘、ある段階まで進み、自分の子孫会員が一定数になると講の本部か子孫会員から自分のところに送金される

お盆に

心清寺で説明会

都市計画街路事業

しかし、ねずみ算式に会員がふえる訳ですが、理論上人口よりの会員が多くなり、すぐに破たんし、早く講に入った人だけが得をし、大多数の人が必ず損を講のしくみやうまい話の正体を見破って、悲劇を生むことのないよう気をつけましょう。

都市計画街路事業東山通り下矢原線にかかる心清寺共同墓地(三和町)について、このほど第一回目の事業説明会を開きました。お盆帰省者あるいはお墓まいりの人のため、次のとおり職員が出向いて現地での説明をします。
日時 八月十三日午後一時から六時まで、八月十四日、十五日午前八時から午後六時まで
場所 心清寺(三和町)

全国戦没者の追悼

八月十五日、さきの大戦における戦死者、原爆死没者および戦災死者などの戦没者に対し、追悼の意を捧げたいと思えます。
例年のとおり、当日正午のサイレンを合図に一分間の黙とうをおねがいたします。

10万個の「火のトンネル」

七夕まつり



観光山口の名物行事、七夕まつりが、八月五日から七日まで、山口商店街を中心に行われます。

- 〇一、二〇・五一、二一・三
- 五 市役所前発二二・〇二
- △吉敷線△中尾発(西光寺経由)一九・三〇 センター
- ビル発二一・三〇
- △天竺線△錦鶏の滝発一九・〇〇、二一・五四 市民会館前発一八・三六、二一・三〇
- △平川線△平野発一九・三五(交通局前止めを県庁前まで延長)一九・五〇 センター
- ビル発二一・四〇
- △朝倉線△朝倉発(糸米経由)一九・五〇 センター
- ビル発二一・三三

●臨時列車

- 小郡発二一・三八、山口発二二・一〇、津和野着二三・四三

●交通規制

荒高―道場前―札の辻間、駅通り裁判所―早間田(千歳橋、湯の町は午後七時から十時まで車両が通行止めとなります)

●市営臨時バス

△宮野線△宮野奥湯田温泉発一九・二九、二一・一六、二二・〇〇、二二・二一 市民会館前発(中電前)一九・



今月のテーマ

交通事故

絶えない交通事故—この社会悪々を追放するため交通事故をテーマに選びました。六月二十九日行われまして「交通事故撲滅市民総決起大会」での市民の五人の主張の要約と最近の交通事故死の特色、昭和四十五年以降の交通事故の統計をあげました。家庭で交通事故について市民の主張をもとに話し合ってください。

最近の交通事故死の特色

■市街地の周辺部に多発 市街地の周辺部、例えば大内、小鯖、陶、鑄銭司というところに多発しています。

■交通弱者に相変わらず多い お年寄り、子どもも多く、

■女性運転手の事故が目立つ 今年の交通事故死の二件は女性ドライバーによるもので、こ

■夜に多い やはり九件のうち六件は夜間に発生しています。

■山口市民が市民をころす 市民同志の事故が四件と、多いのも今年の事故の特色でまた、車が電柱や樹木に衝突した単独事故死もあります。

ゆずり合う、かよう心が 事故を防ぐ

被害者



円政寺町 鹿島 シズエ さん

最愛の息子をなくして—

私は大切な息子をさる五月三日未明大内矢田の国道で交通事故で失いました。 わき見運転した車が停車中の大型トレーラーに追突し、助手席に乗っていたのが、十六歳の私の長男でした。 性格は温厚で私の子どもとしてはできがよすぎる位でした。 それを直線コースで—運転者は

母親



大内・下千坊 野田 美津子 さん

交通立哨の 効果を見直す

六年前から、大内婦人会ではこれまでなかった傾向です。

■山口市民が市民をころす

市民同志の事故が四件と、多いのも今年の事故の特色でまた、車が電柱や樹木に衝突した単独事故死もあります。

■夜に多い

やはり九件のうち六件は夜間に発生しています。

市民の主張から

無責任すぎや—しませんか。 ねずみとりをしてしているぞ— 運転者同志が知らせあう、そんな心が事故に結びつくのです。 親として生きる希望も失い、かえすがえすも残念です。 こんな不幸はもうたくさん、市民一人一人が注意していこうではありませんか。

母親



大内・下千坊 野田 美津子 さん

交通立哨の 効果を見直す

六年前から、大内婦人会ではこれまでなかった傾向です。

■山口市民が市民をころす

市民同志の事故が四件と、多いのも今年の事故の特色でまた、車が電柱や樹木に衝突した単独事故死もあります。

■夜に多い

やはり九件のうち六件は夜間に発生しています。

運転者



大隅タクシー(株) 薬師川 典夫 さん

どうもすみません

そんな心が—

家庭のお母さんにかわって、この子たちを見守るのも婦人会の役目の一つと考えるようになりました。そしてこの子たちの前で決して母親は交通ルールでいいかげんなことをしてはならないと思うのです。

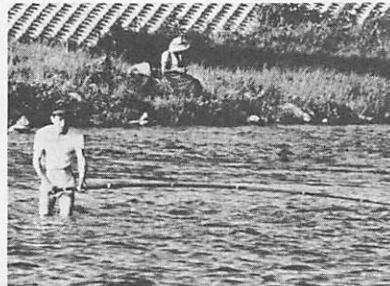
北から南から



流れに

さおを振る

つゆあけとともに、樫野川のあちこちの瀬では、あゆかけの光景がみられます。 ひざの上まで流れにつかり七、八分もあるつりざおに重りと五、六段のハリをつけ、流れにさおを振って、瀬に舞うあゆをかける漁法です。 周囲の草木の緑と水の流れ、空には夏雲がわく光景は、一ふくの絵をみる思いですが、釣人は「暑くて重労働



ですよ」といわれます。 漁果は今のところやや小型だが豊漁のようです。 きつと釣人のその夜の食卓は、夏の味覚でにぎわい、釣人の自慢話が続くことでしょう。 樫野川ぞいの夏の点景。



ソテツの花

ソテツは今から五百年ばかり前の大内氏全盛時代に、大



内氏が庭に植えたのが、本州においてのソテツの栽培のはじめといわれ、山口にはゆかりのある木です。 江戸時代にも庭木として珍重されましたが、現在では庭に多く見られるようになりました。しかし老木になって、花が咲くようになるにはなかなか年数がかかるといわれます。 市役所鑄銭司出張所前庭にあるソテツの老木は、ことしの冬、寒さが厳しかったためか、葉が全部枯れてしまいました。ソテツに花が咲くといわれています。 話題になっています。

(5)

私はプロドライバーです。一度の過失を許されたいのです。これがプロの自負であるとともに責務であるのです。

しかし、路地から道路へへとび出し、自転車の二列走行、かさし運転、無灯火走行などなど、「交通安全は他人まかせ」が定着している—どうなっているのでしょうか。

ドライバーとしては、道路事情、交通安全施設など改善してもらいたいことはたくさんあります。しかし、待ってもらった車に手をあげて「どうもありません」「どうもすみません」こんな小さな心づかいが、そしてゆずり合う心が、交通事故防止の第一歩になるのではないのでしょうか。

市民一人一人の交通徳の再武装こそ、今私は最も必要と思うのです。



交通指導員

上 堅 小 路
佐々木 高一 さん

危険がいっぱいの

お母さんがた

毎朝、八幡馬場で交通指導をしています。「はっ」と、すること一番目につくのは、ご婦人です。

斜め横断をし、注意すると「お守りがあるから交通事故に

はかかりませんツ」と平然と答えるご婦人。

信号機のない横断歩道で手をあげて車をとめられないお母さん。自転車のあぶなかしい運転をするご婦人。婦人に正しい交通ルールを実践できない人が多

いのです。お母さんは子どもに「横断歩道は手をあげて、通学路を通ってー、悪ふざけはやめようー」と注意をします。

しかし、「いうこと」と「やること」がちがうのです。どうぞ、お母さんがた、しっかり交通ルールの実践を勉強してください。

老人



大 内 問 田
明 山 誠 演 さん

お年寄りを

いたわって

社会にはお互いを守るべきルールがあり、これを守れば混乱はないはず。そして「お先きにどうぞ」というゆずり合いの精神があれば、交通事故は激減すると私は思います。

老人は交通事故をよくおこし社会に迷惑をかけている点は申し訳ないと思っています。

ところが、弁解をさせてもらえれば、年をとるとボケてくるのです。六十歳も老人、八十、

九十歳も老人なのです。正直すぎて—気まじめになつて、動作もにぶく、することも意外なことも多くなるのです。

どうぞ、迷えるこうこの老

人が一割もいる訳ですから、ドライバーの人たち、気をつけてやってください。

特に方向指示器を早く出して進路を示してください。こんなことを老人は願っています。

時代の傾向に逆行

八十三人の犠牲者(五年間)

七月二十五日現在、市内で起きた交通事故死は、すでに九人に達しています。

交通事故死は、四十五年ごろがピークといわれました。その後、交通安全の教育が徹底してきたことや施設がよくなってきたことで、全国・山口県は発生件数、死者とも減少し、死者数は四十五年時の六十割程度になっています。



ところが、山口市は発生件数は全国・山口県なみに減少していますが、四十九年は死者二十九人、重傷五十三人を出し、また五十二年の上半期も(一月～六月)死者八名、重傷二十七人を出し、このすう勢が続くかぎり、まさに時代の傾向に逆行する型となっています。

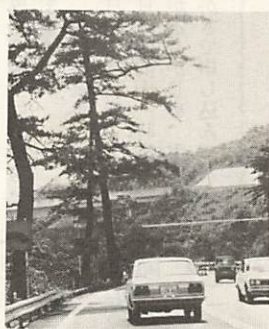
そして人口十万人当たりの死者数は、全国と比較すると五十二年を除き、いずれも高くなっているのです。

これは幹線道路が多いなどの理由もありますが、これは理由ではあっても、交通事故死の不幸に変わりはありません。それも一瞬の不注意、交通のルールを守らないために交通事故は起きているのです。

私たちは交通事故のおそろしさ、悲惨さを改めてかみしめて交通安全を心がけましょう。それが交通事故撲滅市民総決起大会で十一人の市民が立場こそちがえ、主張されたみんなの願いなのです。

市境

割木松



国道二号線の、嘉川から宇部市山中へ越す道は、古くからの山陽街道をほぼかたどっています。

ていて、道の側には古い街道松がわずかに残っています。この峠は割木松といい、周防長門の国境でもあります。今から五百年ばかり前、山口に来て、さらに九州へ旅立った連歌師宗祇は、その旅日記の一節に、「はるかに歩いてゆくとあまりけわしくない山路にかかった。道の側に小松が群がり立ち、大きな石にしめ縄が張ってあった。ここが周防と長門の国境ということであった。」と述べています。

いま峠の頂上に「東周防国西長門国」という石柱が建っていますが、宗祇が通った頃の情景はしのぶことはできません。

現代ッ子気質というのでしよつかね—何か子どもに仕事をさせると見返りを要求することが多いのではないのでしょうか、私の子どももそうなんです。

てなどに取り組んでいます。社会に奉仕する—こんな忘れかけられた気持を子どものときから育てることが、子どもの将来あるいは成長の過程でもとても大切なことじゃないでしょうか。

提言

子どもの社会奉仕



—宮野平野—
河井知代 さん 主 婦

お世話になっているのですから、子どもなりにできることをもつとすべき—またさすべきと思います。

平野子ども会は、地域社会に役立つ、ごみひろい、高令者の慰問、交通安全の看板建

私たちが、子を持つ親は、もつと子どもに社会に奉仕することを教えるようではありませんか。このことが、明日の明るい社会をつくる基になると思います。

古くから、山口地方に伝わる古典芸能驚流狂言が伝承者が少なく、年々衰微してきており、驚流狂言保存会では伝承者を求めています。

狂言は室町時代に発生した芸能です。その後、江戸幕府おおかえの大藏流、驚流、尾張藩おかえの和泉流の流派ができました。

明治時代に入って、狂言もみる人が少なくなり、一時はどの狂言師も転職を余儀なくされたという事です。

しかし、その後世が平穩になり、政府もその伝承に力を注いだので、狂言も次第に復活しました。その時、大藏、和泉の二派は家元をたて、今の隆盛をみるに至りましたが、驚流だけは家元不明で、分家や弟子もおとろえ、再起できませんでした。

ところが、幸なことに各地に驚流狂言伝承の狂言師がわずかながらいて、現在驚流狂言は、新瀉、佐賀、山口に残されています。

山口の驚流狂言の源流は、毛利藩おかえの狂言師春日家で、幕末の頃の当主は春日庄作でした。

しかし、庄作は明治維新後狂言を見切り、厚狭郡で農業をしていました。ところが明治の中頃、野田に能舞台ができ、

狂言ができることになったので、人の勧めで山口に移り、道場前前の本國寺に起

居し、弟子を教えていました。この頃庄作は、驚流狂言師として名うての名手であったといわれます。

明治三十年、庄作の死没後はその教えを受けた優秀な弟子たちが多くありましたので、一時さかんでしたが、年代がたつにつれ、その人たちもなくなり、ふるわなくなりしました。

ところが、師範の人たちもなくなったり、高令で健康がすぐれず、狂言をすることができなくなったりし、現在、中央公民館で月二回練習を続けているものの集まるのは、いつも二、三人という有様です。

無形文化財(県指定)

驚流狂言を後世に残そう

伝承者を求める



驚流狂言の舞台風景

全国的に例の少ない驚流狂言を後世に残そうと昭和二十九年に有志二百余名の協賛を得て驚流狂言保存会が結成されました。

昭和四十年ごろは、中西治郎さん(四十五年死没・鰹石)、河野三十さん(80・大内間田)、加屋野幸治さん(73・黄金町)を師範に、伝習者の育成、狂言

の観賞、また、史実の研究などが進められ、伝習者も十五人もいました。そして昭和四十二年には、県指定の無形文化財となりました。

ところが、師範の人たちもなくなったり、高令で健康がすぐれず、狂言をすることができなくなったりし、現在、中央公民館で月二回練習を続けているものの集まるのは、いつも二、三人という有様です。

ところが、師範の人たちもなくなったり、高令で健康がすぐれず、狂言をすることができなくなったりし、現在、中央公民館で月二回練習を続けているものの集まるのは、いつも二、三人という有様です。

現在、伝承者は、小林栄治さん(52・居住東山一丁目・勤務地下関市・国家公務員)と梶山亀久男さん(52・吉敷・団体職員)の二人だけ、それに勉強中の正木宏子さん(45・香山町)がいるだけ。四十年ごろおられた伝習希望者は、転勤や古典的なものになじめないためか、やめました。

驚流狂言の曲目は、百余のものがあります。所作とせりふで、舞台を構成し、笑いをふりまくのが狂言です。ところが、せりふは台本をよめばわかるが、所作はどうしても一挙手、一動作を習わなければ狂言はできません。

伝習者で師範の一人小林さんは「驚流狂言の他地区との交歓会をしますが、佐賀のものなどは、題目と言葉は本流ですが、動作はずいぶん郷土芸能化している」と学ばされています。山口のものは驚流そのものが残されているわけですから、ますます貴重という訳です。私たちが「みせる」場をたくさん持つて、市民のみなさんの理解を深めたいです。」と話しておられます。

驚流狂言保存会の事務局をつとめる中央公民館では、驚流狂言の代表作を選んで、ビデオテープに収め、後世に残すことを計画中です。

驚流狂言は、幾多の変せんを経て今も残されてきました。しかし、明治中頃とだえかけたものが春日庄作に救われ、昭和のはじめにもう一度とだえかけました。現在はまた三度目のピンチかもしれません。中央公民館では、伝習希望者を求めています。

練習日は毎月第二、第四土曜日、会費は無料、希望者は中央公民館へ。

。課題図書
「黄昏のロンドンから」木村治美、「鉄の首枷」遠藤周作、「妻たちの二・二六事件」澤地久枝、「子育てごっこ」三好京三、「毎日が日曜日」城山三郎、「幕末」司馬遼太郎、「道の花」水上勉、「性に眼覚める頃」室生犀星、「最後の

お母さんの
読書感想文コンクール
一葉「O・ヘンリー、大久保博訳、「二人のイーダ」松谷みよ子
。字数 二千字程度
。応募締切り九月二十日
。送り先 市内後河原 県立山口図書館「お母さんの読書感想文」係
応募は一人一点、作品には、題名、住所氏名、職業、年令を記入

幼児をおもちの家庭で耳の調子や、ことばの発達に不審をもたれたり、ちえおくれではと不安を感じられたりするとき「障害幼児教育相談室」をご利用ください。治療法や指導方法など専任の相談員が助言をします。

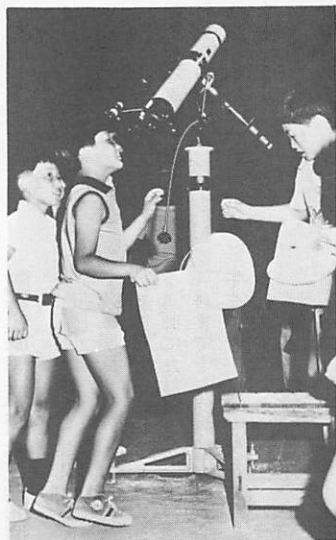
とがよいでしょう。
相談内容と相談室は次のとおりで、くわしいこととの問い合わせは、県教育委員会指導課へ。
▽視覚―県立盲学校(下関市春日町七―三二)
▽聴覚―県立聾学校(山口市鑄銭司原)
▽肢体不自由―県立防府養護学校(防府市浜方中浜)
▽情緒障害・精神薄弱―県立宇部養護学校(宇部市厚南区中野)

家出人、行方不明者 相談所を開きます
山口警察署では、身もともがわからない仏様を家族や身寄りの人におとどけするため、家出人などの身元をさがす相談所を開きます。
○期間 八月一日から三十一日まで
○場所 山口警察署刑事課
秘密は固く守られますので、心あたりの人は、ご相談ください。

(7)

▶マンモス体操会

7月21日白石地区ラジオ体操の集いが開かれました。おはよう、おはようと集まった子どもや父兄は、約600人、マンモス体操会にはぎやかでした。



◀神秘的な世界をのぞく

児童文化センター主催の巡回天文の夕べが、7月21日・22日・23日宮野小、仁保中・大内中で開かれました。

長さ1メートルの天体望遠鏡からのぞく星空は、まだまだ神秘的な世界、集まった子どもたちは言葉も忘れ、真剣にのぞきこんでいました。



▼植木のサンパツ
七月二十一日、大歳老人クラブ会員が福祉センターの庭木の刈り込みをしました。これは、世話になっている施設へのお礼にと毎年行っているもので、伸び切ったイブキやヒマラヤ杉が、またたく間に夏姿になり、さっぱりとしました。



▲裸坊くり出す

山口の夏祭りのハイライト—祇園祭り初日7月20日午後7時から、大殿・白石・湯田の町内や祭狂会のみなさんにかつがれたおみこしが、駅通りの御旅所まで、威勢よくくり出しました。汗びっしりの裸坊さん—「やはりふるさとの祭りはいいもの」とはあるお年寄りの感慨でした。

◀汗と泥にまみれ—猛練習

県・西中国予選を勝ち抜いて、全国大会出場の山口サッカークラブ、7月21日から沖田監督(付属小教諭)らの指導で最後の猛練習。8月1日から東京での戦勝報告が待たれます。がんばれ、足技の精鋭たち。



先日、山口隣保館において標記のテーマで婦人の交流研修会が行われました。

はじめに、司会者の提案で婦人研修資料「みんな取組むために」のまえがきの部分を、参加者全員が朗読、つづいて、映画「部落はこうしてつくられた」を見て話し合いにはいりました。

婦人の同和教育をどう進めるか (1)

映画を見ての感想として「昔は、差別の中で本当に厳しい生活を強いられていたのだな」と思うと憤慨に耐えない。今では、多くの人々に部落差別の何であるかが理解されてきているので……と、

「部落は、政策によってつくられたものであり、差別されるいわれはないのだから、むしろ胸をはって生きていくことが必要ではないか」というような意見が出されました。しかし、これに対して、「現在、身近な地域では、表面的には差別がないようにみえるが、潜在的にいろいろな形で、差別が残っている。それが、必ずといっていいほど、結婚などの場合に出てくる。学校教育も、社会教育も、まだ充分とはいえない段階であるので、そういうわかれても、急には、ど

この事例について、ある婦人は母親としての務めを次のように話しておられました。「子どもたちが、これから先、とくに仕事や結婚のことなどで、大きな悩みにつつかることがあるであろう。その時、いつまでもひとりで悩み続けるのではなく、身近な人に相談するなどして強く生きぬく子どもに育てておくことが大切ではないか。それと同時に、母親が、自分の子どもを考えや行動を見ぬいて、本当に子どもの悩みを救ってやる親にならうか。そのためには、母親はもっと勉強しなければ……」と。

出張所地区

8月の不燃物収集日

嘉川1日、陶・鑄銭司2日、佐山3日、名田島・秋穂二島4日、平川11日、大内17日、大歳19日、仁保23日、小鯖25日、宮野26日、吉敷29日

よい子さん一映画をみにいらっしやい アニメーション映写会

一県視聴覚センター

日時 8月13日午前10時、午後1時、午後3時30分から(3回上映)
場所 山口図書館内視聴覚センター
プログラム あればだれ? ノートルダムの曲芸師 美しい森の物語
入場料は無料ですが、入場整理券が必要。希望者は事前に来所か往復はがきで同所へ申し込む。

無料レントゲン

健康診断

嘉川地区

Table with columns: 月日, 時間, 場所. Lists health check-up times and locations for various areas like 高根, 東今津, 寄江, etc.

佐山地区

Table with columns: 月日, 時間, 場所. Lists health check-up times and locations for areas like 本由良, 須川, etc.



自転車にのる人も、道路交通法をよく知ることが大切です。(7月15日、平川小の自転車教室で)

乱暴な乗り方が目立つ

自転車には正しく乗りましょう

自転車も道路交通法では、軽車両としてルールが決まっています。乱暴な乗りかたで歩行者が迷惑し、危険な目に合うことがしばしばあります。
次のことを守って、自転車に正しく乗りましょう。
。自転車は一列で進行し、原則として歩道を利用する。
。かさをさしてのったり、二人乗り走行はしない。

- 。後部反射板を必ずつけて、夜間は灯火を点灯する。
。斜め横断をやめ、右折左折は安全を確める。
。路地からとび出さない。
。山口市街のアーケード街は午前十一時から午後六時までは歩道と同じです。混み合うときは自転車をおりて、押して歩きましょう。

家族問題講座を開催

県教委・山口女子大

親子関係や父性・母性、法の仕組みなどを山口女子大の先生を講師に九月二日から十月二十一日まで十三回午前十時から正午まで、山口女子大を会場に開かれます。

対象は一般成人女子三十名で申し込みは、往復ハガキに氏名、住所、職業をかいいて、八月二十日までに、桜島三丁目山口女子大内家族問題研究会へ。

県民相談室

知事への提言

県政へ要望、相談は、中央県民相談室(県庁内)(電)二一三一―または山口地方県民相談室(山口県税事務所内)(電)五一三一―へ。
また県政についての提言は、市役所内、県庁内、山口県税事務所内に設置してある「知事への提言箱」へ。

財形住宅資金

貸付け

三年以上財形貯蓄をし、公務員や公社職員など以外の人で、住宅建設と土地購入をする場合財形住宅資金の貸付けが受けられます。
くわしくは、県住宅課または市都市計画課へ。

新任保護司

保護司として七月一日付で、岡藤秀正さん(嘉川寄江)が法務大臣から委嘱されました。

8月「不法電波一掃月間」

最近、無免許で電波を放射する人が多く、重要な通信、放送受信を妨害しています。
がんに具用のトランシーバーなど、弱い電波を使用する以外の無線機は郵政大臣の免許が必要です。
免許を受けて、正しく使しましょう。
無線機使用のくわしいことや苦情は、広島市白島町十九の三十六、中国電波管理局へ。

無線機の使用は免許を

Table with columns: 8月の休日当番医, 外系, 内科. Lists hospital names and phone numbers for various departments.

診療時間は8時30分から17時30分 歯科は県口腔センター 吉敷下東(3・1820)へ